



例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F



「季節外れの日暈」

蜘蛛 康介

<会長の時間>

今回は書籍の紹介をします。
題名は『賢いバカ正直になりなさい』著者ジョン・M・ハンツマン、英治出版、2006年7月7日第一版。



著者のハンツマンは無一文から従業員 16,000 人売上 120 億ドルの化学会社を設立しました。2001 年から 2003 年にかけてガソリン価格の上昇や景気後退が続き財政危機に瀕します。客観的には破産は避けられないという見解でした。破産を選んだほうが楽というくらい出口のない苦境の中で、複雑な金融パズルをひとつずつ解決して破産の危機を乗り越えます。誰の心の中にも『なせば或る』という精神が眠っている。危機に陥ったとき誰もがこの精神力を発揮することができると思っています。人生のあらゆる段階で成功できるという確信を持たなくてはならない。リーダーの役割は、成功の保証のない危険な状況の場合でも常に立ち向かう姿勢でその問題に対処していくことであり、すべての最終責任を負わねばならない。現在ビジネスの世界では取引での嘘やだまし、虚偽の報告、責任回避といったものが深く浸透している。これは目先の利益ばかりを求めるからではないか。成功していくために必要なことは勇気、最後までやり抜く信念、誠実さ、正直である。嘘をついたり、不正な手段で儲かることも少なくないかもしれないが、いかさまをする人間が勝ち続けることはできない。交渉については正々堂々としかも真剣に細心の注意を払って契約は複雑にしない。契約の前に厳しい交渉があるのは当たり前だから握手で交渉は終了する。握手は署名した法的書類とおなじものだ。人間関係では優しさと礼儀正しさが一番必要であり、他人の幸せを応援すると自分にも幸福が訪れると述べています。

最後に慈善行為について述べてあります。サクセス・ストーリーの中で、自分だけの力だけで成功した人間は一人もいない。たいていの人はチャンスを恵んでもらっている。成功には必ず人の助けがある。その恩返しをするための唯一の方法が自分の幸運を人に分け与えることに他ならない。慈善行為は素晴らしい仕事である。なぜなら会社を活気づけてくれるのだから。ハンツマン自身は世界最大の癌研究所とがん専門病院を 2004 年に建設しています。将来は国中ががん専門病院を建設するのが願いだとしています。億万長者でなくても慈善家にはなれる。富や親戚を分け与え、困った人を抱きしめ、人にチャンスを作ってあげることは社会的義務である。与えることは心と魂を豊かにし、人から人にかけていくものなのである。

<幹事報告>

◎R I ローター財団より

- ・ベネファクター認証状
折茂 謙一さん

◎台北東海RCより

- ・歓待のお礼



◎ガバナー、次期ガバナーより

- ・2013 年規程審議会の報告会開催のお知らせ
日時 6月15日(日) 点鐘11:00 閉会点鐘15:00
場所 岐阜都ホテル 岐阜市長良福光 2695-2
出席要請者 13-14 クラブ会長・幹事及び情報委員長の内 2 人

◎次期ガバナー、地区ロータリー財団委員長より

- ・地区ロータリー財団研修セミナー開催のご案内
日時 7月6日(土) 点鐘10:30 閉会点鐘16:30
場所 岐阜都ホテル 岐阜市長良福光 2695-2
出席要請者 2013-14 クラブ会長および財団委員長

◎次期ガバナー、地区職業奉仕部門委員長より

- ・地区職業奉仕部門研修セミナー開催のご案内
日時 8月4日(日) 点鐘13:00 閉会点鐘15:30
場所 名鉄ニューグランドホテル
出席要請者 13-14 クラブ会長または幹事、職業奉仕委員長

◎高山中央ロータリークラブより

- ・濃飛グループ 8 クラブ合同ゴルフコンペについて
日時 5月25日(土) スタート9:00 (IN・OUT 同時)
会場 飛騨高山カントリークラブ

◎飛騨高山国際協会より

- ・日韓共同製作ドキュメンタリー映画『李藝』上映会の開催について
日時 6月6日(木) 開演19:00
会場 高山市民文化会館 小ホール
入場料 一般1500円、高校生以下500円

<例会変更>

高山中央… 6月24日(月)は、お別れ例会のため
18:30~銀風 に 変更

<受贈誌>

高山市都市提携委員会(高山市都市提携委員会会議資料)、
飛騨高山国際協会(通常総会資料)、岐阜県環境生活部人権
施策推進課長(人権だより No. 53)

例会報告

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	41名	1名	42名	52名	80.77%
本日	39名	—	39名	52名	75.00%

<本日のプログラム> インターアクト委員会

委員長 脚手 康介

インターアクト部の顧問は、今年も引き続き荒川先生にご担当いただける事となりました。

本日は例年恒例となっております、インターアクト部の年度活動計画等について、荒川先生および部長の中居美琴さんにお話し頂きます。



飛騨高山高校インターアクト部 部長 中居 美琴 さん

私たち飛騨高山高等学校インターアクト部は、昨年度、地区合同研修会を主催し、松原直美先生をお呼びして、UAEについて勉強をしました。非常に有意義な会にすることができました。これも高山西ロータリークラブの方々に日々、物心両面でサポートしていただいているおかげだと感謝しております。また、2名の生徒が韓国派遣にも参加させて頂きました。本当にありがとうございました。韓国派遣につ

きましましては、今年度も私と2年生部員の中畑が申し込んでおります。もし参加させて頂けることになりましたら、よろしくお願いたします。

常時の活動報告としましては、昨年同様、月曜日と金曜日に活動しています。活動内容は、校内および校舎周辺の清掃活動、ペットボトルのキャップ集めをしています。このペットボトルのキャップは800個集めると、1人分のワクチンと交換することができます。このワクチンを発展途上国の子どもの生命と健康維持に役立ててもらおうのが活動の目的です。昨年からは2011年3月11日に発生した「東北関東大震災」のため、今までワクチンに充てていた基金が当分の間は「日本赤十字社東北関東大震災義援金」へ変更になりました。しかし、例え基金の行き先がどこであれ、私たちの気持ちは変わりません。自分たちでキャップの回収箱を作るところから始めたこの活動のおかげで、私も含めて部員たちも、些細なことでも誰かにとって大きな意味をもつことがあるのだということを感じ始めています。活動を通じて、周囲の人たち

にとって気持ちの良い環境を整えること、国内の被災者の方々、国境を越えて見えないところで苦しんでいる人の役に立つことができるということに、活動の意義を見いだしています。そして、そのような苦しい立場の人たちには微力でも継続的な活動が何よりの救いになると私は思います。だからこそ、私たちはこの常時の活動を大切にしています。昨年度より交換留学生としてバスが、私たちの仲間になり、部活動の時や普段の学校生活で、オーストラリアの文化を学んだり、英語を話す機会も増え、刺激をもらっています。このような経験ができるのもインターアクト部に所属しているからだと思います。もっともっと多くの生徒にインターアクト部の良さを知ってもらい部員が増えるように努力していきたいと思っています。

その他の活動として、昨年は支援学校でのボランティアなどの校外活動、ユニセフハンド・イン・ハンド募金活動への参加及びユニセフの活動に関する学習会、文化祭でのフェアトレードへの啓蒙活動および販売を行いました。残念ながら、高山西ロータリークラブの方々と合同行事は、天候の関係で昨年度は実施することができませんでしたのでぜひとも今年度は実施できれば幸いです。今後もインターアクト部という名前に恥じるがないように、精一杯活動していきたいと思っています。これからもご協力お願いいたします。ありがとうございました。



飛騨高山高校インターアクト部 顧問 荒川 一弘 先生

本日は、例会にお招きいただきありがとうございます。飛騨高山高等学校インターアクト部の顧問を今年度も勤めさせていただきます荒川一弘でございます。インターアクト部の顧問になりまして、7年目を迎えました。飛騨高山高校に赴任いたしまして、11年目になりました。

高山西ロータリークラブの皆様には、日頃、本校インターアクト部に多大なご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。また年次大会参加、韓国派遣と物心両面での援助を頂きありがとうございます。重ねてお礼申し上げます。本日は、私と部長の中居美琴の2名が参加いたしました。昨年度の活動報告、今年度の活動計画について説明をさせていただきます。

昨年度は、地区の合同研修会を高山文化会館にて主催し、会長、幹事、インターアクト委員長の脚手さんには大変お世話になりました。講演が中心の研修会でしたが、UAEという日本からは非常に遠く、文化的にも、理解することが難しい

奉仕を通じて平和を

例会報告

国で日本語教師として活躍された松原直美さんに公演をして頂きました。興味深く、活発な研修会になりました。来年も合同研修会の主催は、本校インターアクト部ですので、よろしく願いいたします。

昨年度は、交換留学生として、12年ぶりにベスを受け入れることになり、事前の準備から現在にいたるまで、会長をはじめロータリークラブの方々には、色々な場面で助け頂きありがとうございました。インターアクト部としても、国際交流が毎日行われ、部員にとっても刺激的な部活動となっています。

さて、昨年度と今年度の部員数の表について説明させていただきます。昨年度より、部員が大幅に減り残念に思っています。今年度は、入試制度が変わったために、運動系の部活動を志望する生徒が多く、1年生は、バスマン一人となってしまいました。入部する生徒の中にはボランティア活動を希望したり、短期留学をしたりした生徒が入部するようになってきておりましたので、この状況を維持しつつ、今後は、さらに部員勧誘を、活発にしなければならぬと感じております。

今年度は、すでに、韓国派遣に2名の生徒が応募をさせていただいております。実りある短期留学になるように、事前研修等、積極的に参加するように促して参ります。先日行われましたソロプチミスト主催のクラブ・ユース・フォーラム2013では、2名の生徒が準優秀賞をいただくことができました。地域社会に貢献する活動も、ロータリークラブの方々だけでなく、様々な組織の方々から声をかけて頂き、学校外の活動も増え、うれしいかぎりです。昨年はcoop 岐阜、NPOはたらくねっとと共に12月の初旬にユニセフ募金を昨年同様プレスポで行いました。6万円近くの募金を集めることができました。募金後に、ユネスコの方から、ユニセフの取り組みについて勉強会をすることもでき、有意義な一日となりました。

普段の活動は、今年度もペットボトルの回収に取り組みもうと思っています。昨年は残念ながら天候不順のため、ロータリークラブの方々との合同の活動ができませんでしたので、今年度はぜひとも、清掃活動、奉仕活動をご一緒出来れば幸いです。一步一步ですが、地域ばかりでなく国際的な交流活動にも範囲を広げ、もっともっと積極的に活動していきたいと思えます。

それでは残りの時間は、インターアクトについてみなさんと勉強してみたいと思います。

interact quiz

- ① インターアクトは international action という国際活動を意味する造語である。
- ② インターアクトは、14歳から18歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。
- ③ インターアクト・クラブは、支援や指導を与えるロータリー・クラブが提唱して結成されるが、運営面でも経済的にも自立している。
- ④ 同じ地域社会内の場合、2つ以上の学校からインターアクト

トクラブを構成することができない。

- ⑤ 毎年インターアクト・クラブは少なくとも2つの社会奉仕プロジェクトを行い、そのうち1つは国際理解と親善を推進するものとされている。
- ⑥ インターアクト・クラブ活動は1960年にその当時の国際ロータリー会長のハロルド・トーマス（ニュージーランド）が提唱し始まる。
- ⑦ 1962年オーストラリアのメルボルンにあるメルボルン高校の23名が集まり、最初のインターアクト・クラブを結成しました。
- ⑧ 日本最初のIACは最初のIAC発足の約8ヶ月後に、宮城県の仙台育英学園高校に創設された。
- ⑨ 当時の仙台育英学園高校のスポンサークラブ仙台東RCの国際奉仕委員長は、仙台育英高校の校長であった。
- ⑩ 仙台育英学園高校IAC100人を超える人数で誕生し、当時の世界第2位の会員数であった。
- ⑪ 2番目にできた日本のIACは、10日遅れの1963年6月28日に、西京商業高校（現・西京高校）IAC（京都）です。
- ⑫ インターアクト・クラブが多いのはブラジル、インド、フィリピンである。
- ⑬ 国際ロータリー2630地区所属のインターアクト部は38校である。
- ⑭ 岐阜県に最初にできたIACは斐太高校である。
- ⑮ 今年の年次大会は、関中央ロータリークラブ、武蔵高校インターアクト部が主催である。

解答 … 以下の設問以外の答えは○

- ② 12歳～18歳
- ④ できる
- ⑦ アメリカ（フロリダ州）
- ⑩ 世界大第1位
- ⑪ 1日遅れ
- ⑭ 大垣商業高校
- ⑮ スポンサーは美濃ロータリークラブ

<ニコニコボックス>

●高山中央RC 岩垣津 亘さん

久しぶりにお世話になります。本日はよろしく願います。

●高山中央RC 永井 信次さん

お邪魔します。よろしく願います。

●折茂 謙一さん

- ①本日のゲスト飛騨高山高校の荒川一弘先生、インターアクトクラブ部長 中居 美琴さん よろしく願います。
- ②本日のビジター高山中央RCの岩垣津さん、永井さん ようこそ。
- ③5/14～16 台北東海RCの皆様の歓迎に際しては鍋島さん、門前さん、遠藤さん、塚本さんはじめ皆様ご苦勞様でした。

例会報告

●米澤 久二さん

- ・飛騨高山高校 荒川先生、インターアクトクラブ部長の中居さん、ようこそいらっしゃいました。本日はよろしくお願ひします。
- ・高山中央ロータリークラブ岩垣津さん永井さん、ようこそいらっしゃいました。
- ・台北東海ロータリークラブの歓迎例会では鍋島さんはじめ関係された会員皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

●蜘蛛 康介さん

本日はインターアクト委員会の担当例会です。荒川先生、中居部長さん、ようこそおいで下さいました。後ほどのお話よろしくお願ひ致します。

●鴻野 幸泰さん

荒川先生ようこそお越し下さいました。いつもベスの事大変お世話になっています。本日はベスを地区のオリエンテーションに送って行きます。早退をさせていただきます。

●鍋島 勝雄さん

台北東海RC訪問に際しまして委員長としていたらぬ点多々ありましたが無事に終了出来ました。会員皆様のお陰だと思います。会長始め幹事、親睦委員長、環境委員長、SAAの協力ありがとうございました。

●門前 庄次郎さん、垣内 秀文さん、下屋 勝比古さん、大村 貴之さん、塚本 直人さん、小瀬 真之介さん、新井 典仁さん

15日の台北東海RC歓迎新緑例会には、多くの皆さんに参加いただき有難うございました。上高地散策は短い時間でしたが、天候に恵まれ良かったと思います。また懇親会では練習不足で揃わないダンスを披露してしまいましたが、台湾の女性に飛び入り参加して貰い、盛り上がる事が出来たので良かったと思います。鍋島歓迎実行委員長には大変お世話になりました。有難うございました。

●寺田 昌平さん

①5月14日台北東海RCを迎え、15日上高地散策、夜は歓迎会、16日高山市内観光昼食会、鍋島さんはじめありがとうございました。

●小林 勝一さん

今年もいよいよ菊づくりが始まりました。6ヶ月間のロングランです。頑張ります。

●下屋 勝比古さん

ぎふ清流マラソンに参加しました。給水のしすぎで失速、17kmで回収車に乗せられ失格しました。来年リベンジします。

●垂井 政機さん、田中 武さん、寺田 昌平さん、洞口 良一さん、蜘蛛 康介さん

25日は濃飛グループ8クラブゴルフコンペです。西クラブからは蜘蛛君、洞口君、寺田君、田中君と垂井がエントリーしてあります。これはうまいもの順です。ガンバンベエ。

●一期一会

小瀬 真之介

12年前の春に33才で帰高しました。高山での生活のなか、勤めた会社での経験や祭り等地元の付き合い、また母親の葬儀などを通して自分自身の考えが少しずつ変わっていきました。いつ頃からか高山で独立してやっていきたい、建築の世界でいい仕事をしていきたいという夢が出てきました。3年前に機会あり、会社を立上げ全力で頑張りはじめました。それまで自分は一人前だと思っていましたが、いざはじめると、自分に足りないことや勉強したいことが増え、人生経験も足りなく、色々なことを学びたいという気持ち芽生えました。そんな折、ご縁あり高山西ロータリークラブに入会させていただき9ヶ月がたちました。例会ではまだまだ緊張する日々ですが、多くの諸先輩との出会いやお話できることに感謝する日々です。ロータリーアンとしてはまだまだですが、諸先輩や出来事からより多くを学び精進していこうと思います。今後共指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

●一期一会

井上 正

歴史と伝統ある高山西ロータリークラブに入会させていただいてから早いもので半年を迎えました。日々多くの皆様にお世話になり、いろいろなことを教え学びを戴いております事、改めまして心より深謝申し上げます。

日々暮らしていく中で、常に社会からの恩を戴いて自分が生かされていると痛感しております。安心を感じられる優しい言葉や気持ちにより支えあい、精進を重ね社会に生かされていることを本当に有り難く思っています。

自分以外のすべての相手があつてこそその人生であり、間違つても自分の力で為し得ていくことはひとつもないのだと思います。そして、いつも気をつけていくべきことは、その相手に感謝を忘れてはならないということだと自分に言い聞かせ、人に助けていただきながらの人生だと思っています。その中で西ロータリークラブのご縁、多くの皆様とこれからゆっくり、そして、一つ一つを大切に積み重ねて参りたいと思います。

●一期一会

田中 晶洋

20代のころからの夢であった起業を果たしたのが平成13年の9月、現在で11年と7カ月になります。学生時代にネットワークビジネスにかぶれた時期がありました。雇用関係の無い傘下グループ会員のモチベーションを上げるのに必死でした。その頃学んだのが、船井総研創業者の船井幸雄氏の提唱する経営学です。起業や会社経営とは無関係の環境で育った私には、どんなことも新鮮で魅力的に思えました。もとより飽き症の私には、毎日同じ事を繰り返す仕事など、無理だと思っていたので「起業」や「経営」という言葉は輝いて見えました。しかし、実際に会社経営に携わってみると、毎日同じ事の繰り返しやコツコツ積み上げることの大切さが身にしみて感じます。経営者としては未熟ですが、日々努力を重ねて先輩経営者に近づきたいと思います。

奉仕を通じて平和を